

平成 28 年 6 月 吉日

会 員 各 位

(公社) 高知県理学療法士協会
会 長 宮本 謙三
第 30 回高知県理学療法学会
学 会 長 松村 雅史
準備委員長 川田 久雄

第 30 回高知県理学療法学会のご案内

拝啓

会員の皆様におかれましては、時下益々のご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、このたび下記のとおり第 30 回高知県理学療法学会を開催する運びとなりました。お忙しい時期ではございますが、多くの会員の皆様の演題発表とご参加をいただきますようご案内申し上げます。

敬具

【趣意】

理学療法士が誕生して 50 年を迎え、高知県理学療法学会も 30 回を迎えようとしています。会員数も日本理学療法士協会員は 10 万人を超え高知県理学療法士協会におきましても 1500 人を超える情勢となりました。これまでに我々理学療法士は専門職として社会情勢、医療情勢の変化とともに様々な取り組みを行い高知県民の医療・保健・福祉の発展に寄与し、合わせて品位、倫理、学術技能の質的向上を目指し発展してきました。

そして、これからの未来、2 年後には診療報酬、介護報酬の同時改定が控え、2025 年に向けた地域医療構想の策定、地域包括ケアシステムの構築が推し進められています。特に高知県においては近い将来来るであろう南海トラフ地震への備えが急務の課題であり、東日本大震災や熊本地震の状況からも理学療法士に求められる役割は非常に大きいものがあります。また、近年著しい技術開発による最新の医療機器の専門職としての活用など多くの取り組まなければならない課題があります。そこで第 30 回高知県理学療法学会のテーマを「未来に備える」としました。我々理学療法士は刻一刻と変化していく社会的ニーズに対応し、県民に貢献し支持される職種になるためさらに質の向上に努め発展していく必要があると考えるからです。

本学会は平成 29 年 2 月 26 日、高知市春野文化ホールピアステージで開催予定です。特別講演は石巻赤十字病院理学療法士の谷崇史氏、教育講演には森ノ宮医療大学理学療法士の工藤慎太郎氏を予定しています。

本学会が会員の皆様のあらたなる未来に備え、より一層飛躍していく第一歩となるよう準備しています。多くの会員の皆様の演題発表並びに参加をお待ち申し上げます。

【開催要項】

- 期 日 : 平成 29 年 2 月 26 日 (日)
- 会 場 : 高知市春野文化ホール ピアステージ
(〒781-0304 高知県高知市春野町西分 340 番地)
- 学会テーマ : 「未来に備える」
- 特別講演 : 講師 谷 崇史 先生 (石巻赤十字病院)
- 教育講演 : 講師 工藤 慎太郎 先生 (森ノ宮医療大学)
- 発表演題 : 一般演題 (20 題) (予定)